

『新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)RNA同定』 受託開始のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えするため、検査の新規拡大に努めておりますが、この度、標記項目につきまして準備が整いましたので、11月24日より受託開始することになりましたのでご案内致します。

敬白

記

新規受託項目

●新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)RNA同定(PCR法)

受託開始

●2020年 11月 24日 受付分より

検査受付 (月曜日～金曜日)

検査実施 (火曜日～土曜日)

採取容器(一次容器)

●検体は唾液(新型コロナウイルス専用 滅菌採取セット)



●検体採取と梱包作業(梱包は裏面をご確認下さい。)

- 1 検体採取前にうがいや歯磨き、洗口液等の使用を避けて下さい。
- 2 氏名ラベルに名前を記入し採取容器に貼付下さい。
- 3 専用容器のキャップを汚染させないように注意して開けて下さい。
- 4 5分～10分ほどかけて自然排出された唾液を1～2ml採取して下さい。
- 5 容器の周りについた唾液はアルコール綿で拭き取って下さい。
- 6 容器のキャップをしっかり閉め、パラフィルムをキャップの周りに巻いて下さい。
- 7 カテゴリーB(裏面に説明)の扱いにて、三重梱包で梱包下さい。
- 8 検体は輸送開始まで、4℃で冷蔵保管して下さい。
- 9 輸送まで48時間以上かかる場合は、冷凍保管して下さい。

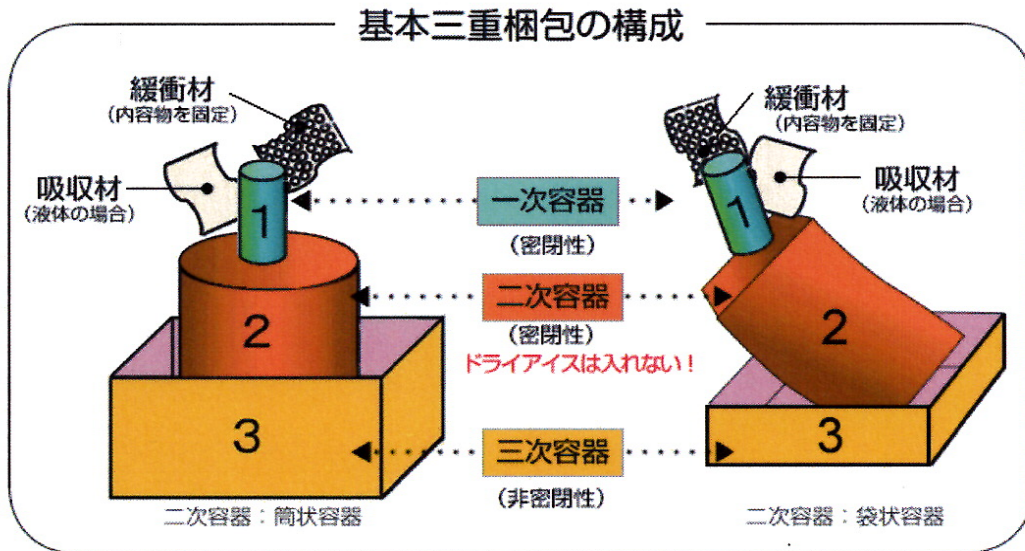
ご依頼時の留意点

●ご依頼の際は、専用依頼書にてご提出ください。

※詳細につきましては、各担当の営業係にご連絡下さい。

検体ご提出方法

ご提出される検体は、下図に従いカテゴリ-Bにて、三重梱包をお願いします。
※国立感染症研究所/バイオセーフティー管理室資料より

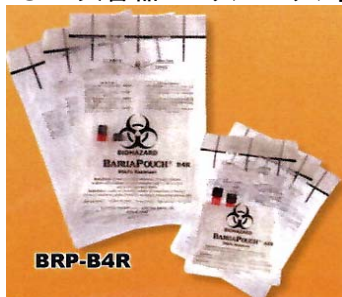


各容器の特性

- 一次容器: 病原体等を入れるための「強固な防漏性」容器。
- 二次容器: 一次容器を入れるための「防漏性」かつ「非常に気密性の高い国連(UN)規格容器」。
- ★★★二次容器は気密性を高める必要があるため、ドライアイスは絶対に入れないこと!
- 三次容器: 二次容器を入れて「輸送時の衝撃から保護する壊れにくい国連(UN)規格容器」。

※二次・三次容器の見本です。

●二次容器「バリアパウチ」



●三次容器「バリアボックス」



●お願い

三重梱包用の資材は、各医療機関にてご用意ください。

- ①一次容器は、病原体等を入れる強固な防漏性容器を用いてください。
(唾液専用の臨床検査用容器)
- ②二次容器は、一次容器を入れる防漏性かつ非常に気密性の高い規格容器をご使用下さい。**絶対に中にはドライアイスを入れないで下さい。**
- ③三次容器は、二次容器を入れて輸送時の衝撃から保護する壊れにくい規格容器をご使用下さい。

※三重梱包用資材一式を弊社から購入をご希望される場合は、
担当員までお申し付け下さい。

コロナウイルスPCR検査 唾液検体採取手順 (被検者向け)

今回受けていただくコロナウイルスPCR検査では、唾液を用いて検査を行います。唾液での検査は、鼻咽頭拭い液採取と異なり刺激や苦痛が少なく、比較的容易に採取が可能です。また、唾液でも鼻咽頭拭い液と同等の検査精度が証明されています。

以下の注意点をよく読んで、検体採取を行ってください。

- ・ 検体採取前には可能な限り飲食や歯磨き、うがいを行わずに採取してください。
- ・ 検体採取前に手洗いをし、容器を開けてください。
- ・ 検体容器（滅菌スクリー容器）に唾液を直接滴下してください。
液体成分が1-2ml程採れるよう（写真以上）、複数回繰り返してください。
- ・ しっかりと蓋を閉め、周囲を酒精綿で拭いてください。
- ・ すぐに提出できない場合は冷蔵庫（4℃）で保管してください。

